

## 関西 4 種委員会 大会共通申し合わせ事項

### 1. 参加資格

- 1) 日本サッカー協会第 4 種に加盟登録したチームで登録選手はそのチームに所属する選手であること  
ベンチ入りするチーム役員のうち、選手への戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ)は、全員が日本サッカー協会公認コーチ(D級コーチ以上)のライセンスを有すること。また、試合においてはライセンスを有するチーム役員が 1 名以上ベンチ入りすること。
- 2) ベンチ入りするチーム役員は 2 名以上 3 名以下とする
- 3) 選手は、必ずスポーツ障害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること

### 2. 登 録

- 1) 選手登録人数は、最大 16 名まで登録できる(JA 全農杯・関西少女は大会要項による)
- 2) 移籍入団選手が移籍前の地区予選に選手登録していた場合、移籍入団先で同大会に出場することはできない。その大会が関西大会に繋がっている場合は同様とする  
各府県予選の登録でチェックする
- 3) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する  
1 大会、1 選手、1 選手番号(複数番号は認めない)

### 3. 雨天(降雪)および落雷時

- 1) 大会中、急な天候の変化による落雷等の危険性が高まった時は直ちにその試合を中断する  
再開(リスタート)は、雷活動(雷鳴・雷光)が止んでから 20~30 分以上経過してから再開すること  
再開ができない場合は、中断時点の結果を採用する。同点の場合は抽選により勝敗を決定する  
その他、レギュレーション等変更する場合は、大会本部にて決定する
- 2) 日本サッカー協会の指導と共に、選手に受ける身の危険を回避するために雷の発生時には、試合を速やかに停止し、選手だけでなく観戦者を含む関係者全員が安全な場所に退避するように促すこと

### 4. 競技者の用具・ユニフォーム

- 1) 本協会の **ユニフォーム規程** に基づいたユニフォームを着用しなければならない
- 2) 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム(シャツ・ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し  
いずれかを着用しなければならない
- 3) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする
- 4) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの迷彩が類似しており判別しがたいと判断したときは  
両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する
- 5) 前項の場合、審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスの  
それぞれについて、判断しやすい組合せを決定することができる
- 6) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと  
同色でなくてもよい
- 7) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する
- 8) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する
- 9) Jクラブ傘下のチームについては、公益財団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要  
項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認め  
られない。ユニフォームへの広告表示については、本号 14) に準じる
- 10) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と迷彩が異なり判別しやす  
いユニフォームを大会登録書(エントリー用紙)に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)  
本協会に登録されたものを原則とする

- 11) シャツの前面・背面に大会登録書に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい
- 12) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する
- 13) ユニフォームの色、選手番号の締切日以降の変更は認めない
- 14) ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会の規定に基づくものでなければならない

#### 5. 大会登録書

- 1) エントリーの締切は、都度、関西4種委員長会議で決定する。尚、府県代表チーム登録書を提出時に府県委員長は出場停止選手も併せて報告すること  
※締切後、やむを得ない事情等で変更をする場合は、当初のエントリー申請人数を上限とする

6. その他については、大会要項に規定する。尚、大会要項については関西サッカー協会4種委員会にて決定する